

日新

日新地区だより 72号

「ゆめ・にっしん」は、平成18年2月創刊。「日々に新たに」ゆめある日新まちづくりの一翼を担い、地区文化の向上を願って今日に至っています。

苟日新 まこと ひ あら 苟に日に新たに
日日新 ひ び あら 日々に新たに
又日新 また ひ あら 又日に新たなり
出典 「大学」

ゆめ
にっしん

発行： まちづくり日新 広報部会
福井市文京5丁目1-8 日新公民館
発行日：令和6年（2024年）12月13日

新しい選挙戦？に振り回された1年今後は……

今年は、選挙が7月の都知事選、10月の衆議院選、11月の大統領選、11月の兵庫県知事選などがあり、いずれも波乱の結果になったと言っていいでしょう。

振り返ってみると、7月の都知事選では小池知事が当選しましたが石丸氏が56人中2位でした。これはX（旧ツイッター）、InstagramなどのSNSを使うことでワンフレーズで簡単に指摘することができ、「現状を変えてくれるかもしれない」「いまの社会に対する鬱憤みたいなものをスカッとさせてくれるなあ〜」っていう印象を与えることに成功したことでしょう。

次に10月の衆議院選挙は、国民が、物価高に悩み、何年たっても上がらない給料、そして真面目に納税している私達とは違い政治資金パーティーで集めた大金を自由に使った（裏金）議員に怒りを込めたことから、皆が一票に込めた結果、与党の過半数割れになったのでしょう。

与党 215 {自民 191 (-65) 公明 24 (-8)}

野党 250 {立民 148 (+50) 維新 38 (-5) 共産 8 (-2) 国民 28 (+21) れいわ 9 (+6) その他 19}

でありました。選挙後の石破総理は「非常に厳しい審判を頂いた。自民党はもったときちんと反省して、もっと国民の意思に沿った政党になりなさい」と言われました。これからの政治に期待したいものですね。尚、福井の国会議員は衆議院では自民(1) 立憲(2) 維新の会(1)、参議院では自民(2)の構成になりました。幅広い政策論議に期待しましょう。

また、11月のアメリカ大統領選は、アメリカの現在の人口は白人が多いですが、将来は白人は減少し、ヒスパニック系が増え、民主党が強くなるのではと言われています。今回のトランプ氏の勝因は、激戦州での経済政策アピールでは「チップの収入を非課税にする、残業代や社会保障を非課税にする」など具体的にわかりやすく、彼らにすぐに利益になることを訴えた事です。ヒスパニック系の人の職業がサービス業や現業が多いことから票の拡大に現れたのでしょう。一方ハリス氏は「希望の経済」と言いながら、具体的な事を言わなかった結果から票がトランプ氏に流れたのだと言われています。また、現バイデン政権は大学の奨学金を免除するという事に力を入れてきましたが、ラストベルト地域（中西部地域と大西洋岸中部地域の一部に渡る、脱工業化が進んでいる地帯）の労働者の多くは大学に行っておらず、そうした有権者には響かない政策だったことなどが大きく影響を与えたのだと思います。そしてSNSなどでの空中戦の影響もあつたでしょう。



11月の兵庫県知事選挙は、斎藤氏が再選を果たしたのは都知事選と同様のSNSの拡散で斎藤氏のイメージを作り上げたことからでしょう。

今年の選挙を左右したのは情報合戦であると思います。テレビ、ラジオなどのマスメディアは正しい情報を流すこと（候補者に平等に放送する）が放送法にありますが、急激に進化しているX、ツイッターなどのSNSで拡散されたものの中にはフェイクニュース的なものが含まれた可能性は否定できないでしょう。情報が氾濫する中で一番重要なことは何が真実で何が偽物を見極める力を蓄える事です。情報発信側はコンプライアンス（法令遵守だけでなく、倫理観、公序良俗などの社会的な規範に従い、公正・公平に業務をおこなうこと）を徹底し、メディアリテラシー（情報判断能力）を備える事でしょう。

尚、気に入らない候補者に対する誹謗中傷をSNSに投稿するや、メールで選挙活動を行えるのは候補者・政党のみでなので、候補者から送られてきたメールを転送することや、投票に行ってきました！皆さんもAさんに投票してください！」などを投票日にSNSへ投稿することなどは公職選挙法違反です。注意しましょう。

SNSとはInstagram、Xなど、インターネット上で交流できるメディアのことです。

敬老会と公民館まつりが同日開催

10月20日(日)のAM9:30からは敬老会(77才以上)11:15から公民館まつりで大変な賑わいでありました。公民館への来館者は推定で1000人を超えたと思われます。例年になく大盛況の要因は敬老会に出席された方々から「久しぶりやの～、この後のまつりもいようよ」との声が多く聞こえてきた事からかもしれません。そして2行事平行の準備が大変でもあるにもかかわらず、企画・準備に当たっておられた方々の緻密な計画のお陰でしょう。スタッフの皆さん、本当に、お疲れ様でした。

成功は段取り九分



祭りの準備



後2時間だよ!



下から見てこれでいい?



展示もこれでOKだ



そろそろだよ 急げ!!



いよいよ始まるぞ!!



「美味しいぞ 焼き鳥」



ちょっと待って……



緊張するなあ～



開会式



うまく歌えたかなあ～



息もついたり



写真撮影お疲れ様



うちの子いるよ。どどここ?



慎重に



いい出来ですよ



どれもすごいですねえ～



これかわいい♡



藤井聡太君?



涼いでショー



こんなに日新に人がいたの?



みんな楽しそうです。



やっと終わった



本当にお疲れ様でした

公民館での敬老会

敬老の日は9月16日でしたが、1ヶ月遅れの10月20日に公民館での初めての敬老会が開催されました。77歳以上の425名の方にご案内をしたところ、59名の方が参加してくださいました。残念ながら米寿の方はご出席がありませんでした。

ステージでは、詩吟や小学生による歌・踊り、そして社協の皆さんに依る創作劇「たにし長者」が披露されました。参加された方々はステージを見ての笑い声や、友人や顔見知りとの久しぶりのお喋りに、館内は笑顔が溢れていました。



さんさんバスの存続危機

再三「ゆめにしん」でも紹介しています様にさんさんバスの運行は平成 27 年 10 月より本格運行・定時定路線型として発足しました。事業内容も交通部会をはじめ多くの人達の知恵や協賛にて順調に運営されてきましたが、コロナ感染症が 2020 年 1 月に発生以来の現在までの 4 年間は日新さんさんバスの乗客数が激減し、市や京

よろしくお願いします



福バスが設定している査定基準数（人数/バス 1 台）を超えない状態が長い間続いていました。イベント（映画・温泉など）参加のための利用、ルート変更（メガドンキ廻り）、ダイヤ変更、停留所変更などを行った結果、2024 年 5 月からようやく基準数を上回りました。今では乗客の皆さんのコミュニティーの場となっています。

しかし、来年 9 月までの査定期間をクリアしなければバスが廃止の危機です。皆さんの協力をお願いします。

11 月 1 日から自転車でスマホ、酒気帯びは厳罰



自転車の危険運転に罰則を新設した改正道交法が 11 月 1 日施行されました。走行中の携帯電話を使用しながらの運転（スマホの画面を見ながら含む）と、酒気帯びでの運転は懲役、罰金刑が科せられます。有罪になれば 6 カ月以上の懲役か 10 万円以下の罰金となります。

歩道で自転車運転は？

自転車が歩道を通行することができる場合は、歩道に「普通自転車歩道通行可」の標識等があるとき 13 歳未満の子どもや 70 歳以上の高齢者、身体の不自由な人が自転車を運転しているときです。



日新地区にカラーの横断歩道

横断歩道のデザイン

ハシゴ型(旧) ゼブラ型(新)



今は殆どの横断歩道が白い塗料でゼブラ模様で描かれています。以前はハシゴ模様であったこと覚えていませんか。福井市内では未だ階段模様が残っている所がありますが？何故側線無くしたかという、水はけをよくすること（タイヤのスリップ防止）、コストダウン（塗る部分が減る事）、設置時間の短縮（人件費削減）からだったようです。

ところで、今年の春に乾徳 1 丁目（税理士法人たすき会前）の横断歩道が緑と白に塗り替えられたことを皆さんはご存知でしたか？福井警察署に電話でお聞きしたところ「歩行者の事故が多い場所だから、目立つように緑色と白で描きました。また、木田町にも横断歩道の部分を歩道の高さまで盛り上げて、



赤の上に白を塗ったものもあります。歩道の高さまで盛り上げたことで段差で車のスピード制御につながりより安全になりました。」と答えていただきました。

他の所にもカラーの横断歩道がないかをネットで検索したところ県内では越前市、大野市にも有りました。その他の所

でご存知の方は、是非公民館へ知らせてください。

全国では宮崎市に紅白の横断歩道が 28 ヶ所設置されているようです。他に沖縄市、寝屋川市、名古屋市熱田区にありました。どんどん増えてきているようです。



越前市



大野市



宮崎市



沖縄市



寝屋川市



名古屋市熱田区

今年の環境部会の活動は11月24日の定例清掃でほぼ終わることになった。例年との違いはクルサ西側に高層マンションの建築が始まり、底喰川との間のコミュニティー道路が通行止めになり、夏花壇が作れずじまい、8月のミソハギ花まつりの鑑賞コースも短縮となった。また衆議院選の影響で清掃参加者数アップもできなかったが、今年の環境部会の総合評価としてはまあまあであったと思う。



今年も温暖化に依る猛暑、激雨、長雨が各地で発生、1月と11月には地震も発生した。米、野菜をはじめ全てのものが高騰するなど大変な年であった。

同様に大菊づくりでは、大きく影響する天候も暑さが長続き、日照り長雨又晴天ばかりも良くない。本当に開花日を合わせる調整には大変苦労する。あちこちの会でも昔との違いが問題となった。毎年護国神社で行われる福井秋芳会に於いても、福井より始められた7本立てをメインとし第106回菊花展示会は終えたが、会員20人弱の老人達には大変であった。ミソハギを守り続ける苦勞も同様に考えられる。
(令和24年11月26日)



地域住民の皆さん日ごろお元気でお暮らしの事と思います。まちづくりコミュニティーバス運営事業も平成22年の4月に誕生して以来、令和7年では15年を迎えるに至っております。(長期に亘り御協力ありがとうございました)その経過に在っては極めて厳しい事柄、苦しい事、大変なる出来事等がありました。

特にコロナ禍中に有っては最低最悪の実績内容は(100~200名)に到り、今事業の中止廃線の検討をもされかねない時期も有りました。只々ひたすら業績不振に対しその結果に際し辛抱、忍耐、我慢の約3年間で有りました。その後今年の4月からの修正で(4~9月迄)のせいか内容が大きく伸長を期し7月には4年5か月ぶりに基準値に対し100%以上に乗車人員数の確保に到りました。右記の実績の通り今年の4月よりは極めて良好になる兆しが出て、2年前の約2倍強の乗車実績に到っており役所示達の基準値消化は非常に明るい見通しに到っているものと判断をする。部分的なる住民の要請、提案等々を実行しながら令和7年度の上期4月よりの計画と事業の展開を図りたく思います。

3年間上期6カ月実績一覧						
月	2022年	2023	2024	稼動日	基準値	割合
4	235名	359	411	21	504	81.5%
5	242	211	353	19	456	77.4
6	232	322	439	21	504	87.1
7	211	356	515	21	504	102.1
8	194	197	508	20	480	105.8
9	226	281	564	19	456	123.6
合計	1340	1736	2790	121日	2904	96.0
割合	46.3%	59.7%	96.0%	注 10月 518名 107%		

○神姫バス停改設(啓新高裏、乾徳郵便局前、みつわ、アスピカホール、カメラのキタムラ)

○Aコープを廃止しドンキホーテへ移行

令和7年度の9月までが当コミュニティーバス運行事業の第3次本格運行の査定になっております。現在は好転の兆しが見えているものの決して驕る事なく役員一同、サポーター、バス愛好者含めて全員が一体感を高めて15年目の事業に対し是非とも目的完遂の為、に皆さん方の強力なる応援を宜しくお願いします。

日新地区で自治会を解散するところが出てきました。自治会の仕事を役所が住民へ頼りすぎていることから、役員のなり手がなく、役員不在で解散を余儀なくした所があるのでしょうか。単に合併で済ませることではないような気がします。

ところで、1頁に掲載したことは選挙だけではなく、世界でも日常的問題となっているようです。11月29日にオーストラリア議会は16歳未満はSNS禁止を可決し、来年より施行する事になったようです。本当に正しい情報を選択するには細心の注意が必要でしょう。

1月18日後藤ひろみ氏の「紫式部と福井のつながり」講演会開催